

# 震災の経験から学ぶ



大地震が起こったときのために、私たちは何をしておくべきかしら。



関東大震災を体験した人たちはいろいろな教訓を残してくれているべえ。まずは、やっぱり**食べ物**の問題だべえ。普段の暮らしから、**最低限、蓄えておく**必要があるべえ。



水も大事ね。「**やかんに水を入れる。**」、「**水を入れるためのポリ容器を用意する。**」など、普段から備えておく必要があるわね。



建物の構造は関東大震災の頃から大きく変わっているけど、「**2階にいる場合は揺れがおさまるまで降りない方がいい。**」という人もいるべえ。1階部分が崩れたとき、2階にいた方が安全だということだべえ。



寝るときは、「**枕元に懐中電灯を置く。**」、「**着る物や靴を用意しておく。**」ということも大事ね。



地震が起こったときは、「**火を消す。**」、「**揺れがおさまったら外へ出る。**」。



その他にも、事前に「**部屋に危ない物があるかないかを確認する。**」、「**薬の備蓄**」、地震が起こった後は、「**どのように動くか家族や仕事などでの役割を決めておく。**」、「**不安な気持ちをおそうデマに惑わされない。**」などが伝えられているわ。

## 現在の防災

関東大震災を経験した人たちの教訓は、現在の防災対策に活かされているべえ。テレビで、学校で、職場で…、防災について学ぶ機会はたくさんあるべえ。

自治体では防災に関するリーフレットやハザードマップを配っているわ。これらの資料はホームページからダウンロードすることができるものもあるわね。参考にしてみましょう！

### 神奈川県

- ・津波浸水予測図
- ・地震防災チェックシートなど

### 大磯町

- ・防災ガイドブック「そなえ」
- ・津波ハザードマップ
- ・防災ガイドマップなど



#### 主な参考文献

- 大磯町郷土資料館編『大磯の災害』2013
- 北原糸子ほか編『日本歴史災害事典』吉川弘文館 2012
- 大磯町編『大磯町史』1996～2008
- 大磯町郷土資料館編『むかしがたり』1993
- 神奈川県編『神奈川県震災誌』1927
- 高橋栄吉『震災記録』大磯警察署 1924

制作 **大磯町郷土資料館**

2015年(平成27)3月

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯446-1  
電話：0463-61-4700 F A X：0463-61-4660